

申込み不要
参加費無料

いま、私たちの 「知る権利」が危ない!

— 軍事・外交情報とジャーナリズムの役割 —

これまで、自衛隊の海外活動の詳細は、国会や国民にほとんど明らかにされませんでした。また、日米間の核持込みを認める密約が取り沙汰されながら、政府は一貫してその存在を否定し続けてきました。

主権者である私たちは軍事・外交に関する情報をどれだけ知っているのでしょうか?

報道の問題を問い続けてきた3人のご講演とパネルディスカッションを通じ、実態と問題点を明らかにし、一緒に考えたいと思います。

日時

2009年10月23日(金)

午後6時～8時45分

開場 午後5時30分

場所

**ロイトン札幌 2階
リージェントホール**

札幌市中央区北1条西11丁目

TEL 011-271-2711

主催

札幌弁護士会

共催

**北海道弁護士会連合会
日本弁護士連合会**

お問い合わせ

札幌弁護士会

TEL 011-281-2428

<http://www.satsuben.or.jp>

講師プロフィール



服部 孝章氏

1950年北海道函館市生まれ、道内で育つ。上智大学大学院修了。立教大学社会学部教授。専攻はメディア法、マスコミ論など。放送番組の適正化・質の向上を図る放送倫理検証委員会(BPO)委員。自衛隊イラク派遣の際には、防衛省とマスコミの関係を厳しく批判。著書として、『現代メディアと法』(共編著、三省堂)、『21世紀のマスコミ』(編著、大月書店)等。



斉藤 光政氏

1959年岩手県盛岡市生まれ、青森県で育つ。成城大学卒業。東奥日報社に入社し、現在、同社編集局社会部付編集委員。三沢などの日米軍基地の核問題の真相に迫った連載などで、第6回平和・協同ジャーナリスト基金賞、新聞労連ジャーナリスト大賞等を授賞。著書は、『在日米軍最前線』(新人物往来社)他。



三浦 辰治氏

1964年東京都台東区生まれ、育つ。立教大学卒業。1989年北海道新聞社に入社し、道不正経理問題などを取材した後、2004年から東京支社勤務。2007年7月からワシントン支局で米大統領選、米経済危機などを取材。今年7月より報道本部編集委員。2006年には、テレビ、報道等の優秀番組を表彰するギャラクシー賞の選奨委員を務める。